

「国際分野における郵政行政の在り方に関する懇談会」開催要綱（案）

1 背景・目的

グローバル化が進展し、あらゆる社会経済活動においてICTの利活用が広まる中、国際郵便の分野においても、信頼性・迅速性を確保し、できるだけ安価で簡便に利用できる高品質で多様なサービスを提供することが求められている。

また、国際郵便は各国郵政事業体・関連事業者の連携・協力により実現するサービスであり、郵便事業・市場が世界的にダイナミックな転換期を迎えている状況にあつて、時代の要請に合致した国際協力等を推進することが重要となっている。

本懇談会においては、このような諸情勢の下、行政として採るべき国際的対応の在り方について、広範な視点から検討を行う。

2 名称

本会の名称は「国際分野における郵政行政の在り方に関する懇談会」と称する。

3 検討事項

- (1) 現状の分析（世界的な動向の把握、主要な問題点・課題の整理）
- (2) 国際分野での郵政行政において持つべき視点
- (3) 今後とるべき国際的対応の基本的方向性
- (4) その他

4 構成員

別紙のとおり

5 運営

- (1) 本会は、郵政行政局長の懇談会として開催する。
- (2) 本会には、座長及び座長代理を置く。
- (3) 座長は、構成員の互選により定め、座長代理は座長が指名する。
- (4) 座長は、本会を招集し、主宰する。
- (5) 座長代理は、座長を補佐し、座長不在の時には、座長に代わって本会を招集し、主宰する。
- (6) 座長は、必要に応じ、外部の関係者の出席を求め意見を聞くことができる。
- (7) 座長は、上記の他、本会の運営に必要な事項を定める。

6 開催期間

平成19年10月から平成20年5月頃まで開催予定。

7 庶務

本会の庶務は、郵政行政局郵便課国際企画室が行う。

(別紙)

「国際分野における郵政行政の在り方に関する懇談会」構成員

(五十音順、敬称略)

おおや まさひろ
大矢 昌浩

月刊ロジスティクス・ビジネス編集長

きむ せいくん
金 正勲

慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合機構准教授

きむら ふくなり
木村 福成

慶應義塾大学経済学部教授

こうご もとひこ
高後 元彦

弁護士

さの まりこ
佐野 真理子

主婦連合会事務局長

せきぐち わいち
関口 和一

日本経済新聞社論説委員

たじり つぎお
田尻 嗣夫

東京国際大学経済学部長

ひぐち きよひで
樋口 清秀

早稲田大学国際教養学部教授

みむら ゆみこ
三村 優美子

青山学院大学経営学部教授

むらかみ てるやす
村上 輝康

株式会社野村総合研究所理事長